SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社堀甲製作所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・企業理念は社内に掲示し、定期的に開催される会議等で都度全員に共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・服務規程は労働基準法に基づき就業規則に明記し、法令遵守の体制を構築している。 ・必要な法令講習に参加し、法令遵守の重要性を社員に周知している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・受注の際は見積りを提示し不正競争行為に関与しないよう全社員に共有し、社長が最終確認を実施することで公正な取引を行うよう徹底している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・バリューチェーン分析を通じて、企業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握し課題解決に取り組んでいる。 ・【予定】2024年5月までに、専務、工場長、部門別リーダー２人を担当者とし、勉強会を実施する。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・必要に応じて特許権の申請を行い、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・取引先の情報及び社員名簿は、施錠できるところに保管と閲覧制限をかけ適切に管理している。 ・入社時に事務員は個人情報取扱に関する誓約書に署名し、情報漏洩の徹底に取り組んでいる。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・協力工場との協力会社（10社）と情報共有を行い、定期的に取引先と意見交換を行っている。 ・消費者からのクレーム等を把握し、適切に対応している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・人権侵害やハラスメント防止については、就業規則へ明記している。 ・取引先とは対話を通じて倫理観を共有し、品質に関する指示等については契約の中で具体的な取決めを行い、認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・水害の教訓を活かし、避難体制を構築している。 ・火災については消防団の訓練や取引先による年２回の講習会を通じ、備えている。 ・【予定】2024年5月までにBCPを策定する。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者を定め、社長より後継者へのOJTを実施することで実務経験を共有することでメンタルを含む人材育成を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・高齢者や障がい者の雇用を行っており、差別や人権侵害のない体制が整備されている。 ・ハラスメント等の防止について就業規則へ明記している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・熱中症対策や防毒・防塵マスクの着用により、業務中の事故防止に取り組んでいる。 ・毎日チェックシートによる安全確認を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・待遇については就業規則に明記し、同一労働同一賃金が実施されている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・育児休暇制度や時間単位での休暇取得により、ワークライフバランスを推進している。 ・残業はほぼないが、残業をする際は10分単位での実施により長時間労働を防止している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部の研修参加や資格取得の補助を行い、平等に教育の機会を提供している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・人間ドックの費用補助により、健康管理を推進している。 ・社内にジム器具を設置し、社員の健康維持に取り組んでいる。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・高齢者や障がい者の雇用を実施しており、活躍できる職場環境が整備されている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：株式会社堀甲製作所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・デジタル化やオンライン化関連の研修に参加しDX推進に向け情報収集を行っている。 ・【予定】2024年5月までにタブレットの導入を検討している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物は4段階で分別し、廃棄物削減に取り組んでいる。 ・使用禁止の化学物質を使用していないか、都度メーカーに確認のうえ証明書を取得している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気工具をエア工具へ移行したり、蛍光灯をLEDへ切り替えることで、使用エネルギーの削減に取り組んでいる。 ・自社の独自のエクセルシートにてエネルギー使用量を把握し、削減目標を掲げ取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO2排出量を把握し、取引先へ提出している。 ・電動リフトの導入により、CO_2削減に取り組んでいる。 ・自社の独自のエクセルシートにてCO_2排出量を把握し、削減目標を掲げ取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・産業廃棄物を適切に管理し、近隣の河川への影響に配慮している。 ・使用禁止の化学物質を使用していないか、都度メーカーに確認のうえ証明書を取得している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・ＦＲＰのリサイクルや、アセトンの再生に取り組んでいる。 ・大学と共同でマテリアル研究を行っている。 ・ＦＲＰの不要部分についてはサーマルリサイクルされ、資源の循環活用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物を適切に管理し、近隣の河川への影響に配慮することで熊本の水質保全に取り組んでいる。 ・事務所での節水について社員に呼びかけ取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・ＦＲＰリサイクル技術の研究を行っている。 ・工場で使用するコピー用紙は再生紙を購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・宴席や会食の際は、食べ切れる量だけ注文し、料理を残さないことを徹底している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・工場周辺の木々は定期的に整備し、緑の保全と管理に取り組んでいる。 ・事業所の花壇を整備し、緑の創出に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・ＦＲＰの不要部分をエネルギー回収としてサーマルリサイクルしている。 ・電気工具からエア工具への移行を行い、エネルギーの使用率削減に努めている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ＦＲＰのリサイクルにより、廃棄物削減に取り組み、海洋汚染の防止・削減に貢献している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：株式会社堀甲製作所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品出荷時は、自社での3段階のチェックと取引先による検査を実施することで安全性や品質を確保している。 ・品質について、取引先への指示指導を行っている。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・軽くて丈夫な製品の開発により、誰もが利用しやすい製品の提供に貢献している。 ・社内に手すり設置することで、障がい者や高齢者等でも利用しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・熊本事業所は木材を多く使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ガソリンスタンドの地下タンクや飲料水タンクをＦＲＰで補強することで、長寿命化に貢献している。 ・大学や企業と連携し、リサイクル技術等の研究開発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・漁業関連の特許技術により、海苔の生産能力向上に貢献している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元のサッカーチームやアメフトチーム、中学生の野球教室への協賛を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・発電機の設置や非常食の備蓄により、災害に備えている。 ・水害の教訓を活かし、緊急連絡網の整備や防災無線の設置を行っている。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社員のほとんどが地域消防団の活動に参加しており、参加の際の柔軟な勤務体制を認める等、地域防災の担い手として応援出来る体制を整備している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・緩衝剤の改善を提案し、取引先からサスティナブル調達部門の表彰を受けている。 ・SDGsの普及啓発のため、社内で勉強会を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。